

合 計 (計画事業費が「一」の事業は除く)

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その2)

政 策 目 標		5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街					
重 点 課 題		1	札幌の特色を活かした文化芸術の振興					
達 成 目 標 の 状 況								
施策 番号	項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
1	〔サッポロ・シティ・ジャズ〕イベント観客動員数		4,000人	73,824人	109,442人	100,000人	100,000人	10万人
1	〔サッポロ・シティ・ジャズ〕市民ボランティア登録者数		—	250人	82人	100人	100人	600人
1	〔サッポロ・シティ・ジャズ〕パークジャズライブ参加者数		65人	947人	673人	1,000人	1,000人	3,000人
1	PMFで指導を受けるためのオーディション(オーケストラコース)応募者数		1,348人	1,374人	1,272人	1,427人	1,468人	1,468人
1	〔札幌交響楽団〕公演への観客数		131,464人	116,013人	127,997人	133,000人	134,000人	135,000人
1	〔さっぽろアートステージ〕鑑賞者数		341,898人	371,995人	352,376人	375,000人	375,000人	36万人
1	〔カルチャーナイト事業〕本市の参加施設数		21施設	25施設	30施設	30施設	30施設	30施設
1	〔芸術の森ART BOX〕週末の施設利用率		57.4%	52.1%	55.6%	未定	未定	60.0%
1	〔創成川アートワーク〕アートワークの設置		—	設置作品の 検討	設置作品の 検討	設置作品の 決定	設置	設置
1	〔(仮称) SAPPOROアート&コミュニティセンター〕文化芸術団体と地域との交流イベント数		1回	—	—	—	4回	4回
1	北海道厚生年金会館の存続		—	存続に向けた 検討	入札に参加 落札し存続			存続
1	〔観光文化情報ステーション〕来場者数		12,000人	26,964人	55,438人	80,000人	100,000人	10万人
1	〔芸術文化情報発信〕ホームページのアクセス(接続)数		—	40,169回	198,031回	150,000回	200,000回	20万回
1	〔札幌市文化芸術振興条例に基づく基本計画〕基本計画の策定		—	策定中	策定			策定 (20年度)
2	〔文化活動練習会場学校開放〕開放教室数		21教室	21教室	22教室	23教室	24教室	24教室
2	〔舞台芸術創作活動支援〕補助金申請団体数		11団体	20団体	14団体	13団体	21団体	21団体
2	〔佐藤忠良関連施設〕施設開設		—	解体・設計・ 作品選定	開設			開設 (20年度)
2	〔子どもの美術体験〕参加児童数(累計)		—	—	2,119人	2,700人	3,200人	3,200人
2	〔子どもの映像制作体験〕参加者数(累計)		—	—	17人	33人	50人	50人
2	〔Kitaraファーストコンサート〕学校の参加率		94.2%	92.3%	95.5%	95.0%	95.0%	95.0%以上
3	公文書館整備基本構想		—	—	検討	策定		策定 (21年度)
3	都市景観重要建築物等の指定件数(累計)		18件	23件	28件	29件	30件	30件
3	〔文化財施設維持保存〕補修工事等実施施設数		1施設	2施設	3施設	4施設	5施設	5施設
3	〔文化財施設維持保存〕保全改修計画の策定		3施設	4施設	5施設	6施設	7施設	7施設
3	〔博物館活動センター展示室整備〕展示室の整備		—	—	未整備	未整備	未定	整備 (20年度)
3	〔伝統文化保存伝承〕補助対象活動数		2件	2件	2件	2件	2件	2件
3	アイヌ伝統文化の振興		—	振興	振興	振興	振興	振興
3	札幌市アイヌ施策推進計画の策定		—	—	—	策定		策定 (21年度)
	(以下余白)							

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その3)

政策目標	5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街
重点課題	1	札幌の特色を活かした文化芸術の振興
主 な 取 組 内 容		
施策1	多様な文化芸術に親しみ、交流・発信する環境づくり	
19年度(実績)		20年度(実績)
●サッポロ・シティ・ジャズ 市民等のアマチュアにも参加資格があるパークジャズライブに対して補助を行った。 ●パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助 世界三大教育音楽祭として成長を続けている同事業に対して補助を行った。 ●さっぽろアートステージ事業 11月を文化月間と位置付け、札幌劇場祭、ストリートライブ、アートフリーマーケット等を実施した。 ●(仮称) SAPPOROアート&コミュニティセンター整備事業 施設のあり方について地域との協議を進め、「旧曙小学校跡施設活用計画」を策定した。 ●厚生年金会館存続の検討 札幌商工会議所、北海道、札幌市の三者により存続検討会議の実施や、存続スキームの検討などを行い、札幌市として入札に参加することを決定した。		●サッポロ・シティ・ジャズ パークジャズライブのほか、国際交流事業(カナダ遠征)やアート&ジャズ(ホワイトロック投射映像制作)などに対して補助を行った。 ●パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助 世界三大教育音楽祭として成長を続けている同事業に対して補助を行った。 ●さっぽろアートステージ事業 11月を文化月間と位置付け、札幌劇場祭、ストリートライブ、アートフリーマーケット等を実施した。 ●(仮称) SAPPOROアート&コミュニティセンター整備事業 「旧曙小学校跡施設活用計画」に基づき、校舎を一部解体し、管理運営団体募集要綱などの素案作りを実施した。 ●厚生年金会館存続の検討 札幌商工会議所、北海道、札幌市による存続検討会議を踏まえ、施設存続に向け、入札に参加し、落札した。
21年度(予定)		22年度(予定)
●サッポロ・シティ・ジャズ パークジャズライブのほか、国際交流事業(カナダ遠征)やワークショップなどに対して補助を行う。 ●パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助 引続き、同事業に対して補助を行う。 ●さっぽろアートステージ事業 11月を文化月間と位置付け、札幌劇場祭、ストリートライブ、アートフリーマーケット等を実施する。 ●(仮称) SAPPOROアート&コミュニティセンター整備事業 「旧曙小学校跡施設活用計画」に基づき、校舎の改修工事を行うほか、管理運営団体の選定・契約をし、施設開設を目指す。 ●創成川アートワーク事業 基本計画を策定し、作品内容の概要を確定させる。		
施策2	市民が自ら作り上げる文化活動の振興	
19年度(実績)		20年度(実績)
●文化活動練習会場学校開放事業 音楽、演劇等の団体に対して小学校の教室を練習会場として開放(16校)した。また札幌市公共施設予約情報システムを導入したことにより、利便性の向上を図った。 ●舞台芸術創作活動支援事業 演劇団体6団体に対して、活動拠点の賃借料の一部に対する補助を実施した。 ●佐藤忠良関連施設整備事業 施設建設に向け、設計や購入作品選定などの諸準備を実施した。 ●Kitaraファーストコンサート事業 市内小学6年生全員を対象としたオーケストラ演奏を鑑賞する事業に対する補助を実施した。		●文化活動練習会場学校開放事業 音楽、演劇等の団体に対して小学校の教室を練習会場として開放する。利便性の向上を図るため、さらに1教室開放した(22教室)。 ●佐藤忠良関連施設整備事業 施設の新築工事等を行い、平成20年9月にオープンした。 ●子どもの美術体験事業 市内小学5年生を芸術の森美術館に招待したり、小学校にアーティストを派遣し、共に作品を制作するなど、子どもたちの芸術的感性を育んだ。 ●子どもの映像制作体験事業 子どもたちがプロの指導の下、本格的な映画制作を芸術の森で行い、シアターキノで上映した。
21年度(予定)		22年度(予定)
●文化活動練習会場学校開放事業 音楽、演劇等の団体に対して小学校の教室を練習会場として開放する。利便性の向上を図るため、さらに1教室開放する(23教室)。 ●子どもの美術体験事業 市内小学5年生を芸術の森美術館に招待したり、小学校にアーティストを派遣し、共に作品を制作するなどの「アート体験」をさせる。 ●子どもの映像制作体験事業 プロの指導のもと、映画制作のワークショップ、撮影などを子どもたちに体験させ、次代の文化振興の担い手を育成する。 ●Kitaraファーストコンサート事業 市内小学6年生全員を対象として、本格的なオーケストラ演奏を鑑賞・体験する事業に対する補助を実施する。		

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書（その4）

政 策 目 標	5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街					
重 点 課 題	1	札幌の特色を活かした文化芸術の振興					
主 　 　 取 　 組 　 内 　 容							
施策3	文化遺産の保存・活用と伝統文化、先住民族文化の継承						
19 年 度（ 実 績 ）			20 年 度（ 実 績 ）				
●公文書館整備基本構想策定 公文書館設置に向けて、有識者を講師とした研修会を実施した。 ●都市景観重要建築物等の保全事業 景観重要建造物等の指定及び保全助成を実施するとともに、歴史的建造物等を生かした景観ガイドライン策定に向けた調査研究を実施した。 ●文化財施設維持保存事業 豊平館の外壁塗装工事や損壊した八窓庵の復旧工事を実施した。 ●伝統文化保存伝承事業 伝統文化である丘珠獅子舞及びアシリチェップノミの保存伝承活動を行う団体に対して補助を行った。			●公文書館整備基本構想策定 有識者からなる策定委員会を設置し、公文書館の具体的な整備構想の検討に着手した。 ●都市景観重要建築物等の保全事業 景観重要建造物等の指定及び保全助成を実施するとともに、歴史的建造物等を生かした景観ガイドラインを策定した。 ●文化財施設維持保存事業 八窓庵の復旧工事を行うとともに、琴似屯田兵村兵屋跡の保全改修計画を策定した。 ●札幌市アイヌ施策推進計画策定 推進計画の策定に向けて、検討委員会の設置準備、ホームページの開設準備、他都市等の施策調査を行った。				
21 年 度（ 予 定 ）			22 年 度（ 予 定 ）				
●公文書館整備基本構想策定 引続き検討委員会で検討を行い、パブリックコメントなどを通じて市民の声を取り入れながら、「公文書館基本構想」を策定する。 ●都市景観重要建築物等の保全事業 景観重要建造物等の指定の推進及び保全助成を実施するとともに、歴史的建造物等を生かした景観ガイドラインの周知を行う。 ●文化財施設維持保存事業 時計台のバリアフリー工事を行うとともに、豊平館耐震診断等検討委員会を開催する。 ●札幌市アイヌ施策推進計画策定 年度内の推進計画策定に向け、検討委員会を設置し、委員会及び部会を開催する。							
主 　 　 施 　 設 　 、 　 サ ー 　 ビ 　 ス 　 の 　 整 　 備 　 水 　 準							
施 設（ サ ー ビ ス ） 名		18年度末 （ 現 状 ）	19年度末 （ 実 績 ）	20年度末 （ 実 績 ）	21年度末 （ 予 定 ）	22年度末 （ 予 定 ）	22年度末 （ 目 標 ）
文化活動練習会場学校開放		21教室	21教室	22教室	23教室	24教室	24教室

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書（その5）

政策目標	5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街
重点課題	1	札幌の特色を活かした文化芸術の振興
評価（成果）		課題
施策1 多様な文化芸術に親しみ、交流・発信する環境づくり		
・PMFやさっぽろアートステージ事業などの既存事業のみならず、サッポロ・シティ・ジャズなどの新たな事業を展開することにより、様々な文化活動に市民が親しめる環境づくりが進み、集客交流を促進する機会を創出することができた。 ・文化芸術振興条例に基づく基本計画を策定し、平成26年度までの本市の文化芸術施策の指針を定めた。		・人的・物的資源が限られている中で、各事業者がより効率的な事業運営を行っていく必要がある。 ・市民に愛され、集客交流のツールとして活用されるよう、事業自体の魅力アップが必要であり、かつ、これらの情報を効果的に発信する必要がある。 ・老朽化している施設の修繕を図るとともに、当該施設を文化芸術の新たな可能性を模索するための拠点として整備する必要がある。
施策2 市民が自ら作り上げる文化活動の振興		
・既存施設を有効活用した学校開放事業など、練習会場や発表の場を提供し、市民が行っている様々な文化活動を支援できた。 ・既存事業であるKitaraファーストコンサート、子ども達が気軽に彫刻などを体験できる佐藤忠良記念子どもアトリエのオープン、「おとどけアート」を始めとした子どもの美術体験事業や子どもの映像制作体験事業など、次代を担う子ども達の育成を積極的に行った。		・文化芸術の担い手の育成に力を注ぎ、文化芸術に対する関心を高める一方、魅力的な事業となるよう、内容の充実を継続的に検討していく必要がある。 ・発表の場の提供に関し、利用者拡大のための広報活動や利用者の声を活かした制度構築が必要である。 ・事業の継続のためには、市民自らが事業を支える仕組み（ボランティアなど）の浸透と裾野拡大を図る必要がある。
施策3 文化遺産の保存・活用と伝統文化、先住民族文化の継承		
・札幌の自然、歴史、伝統文化・文化遺産等を保存・活用していくため、文化財施設の保存改修等を順次、行うことができた。 ・本市の重要な共有財産である公文書等を後世に残すため、公文書館の機能や施設整備のあり方を検討する、基本構想検討委員会を設置した。		・保全計画が未着手となっている文化財施設については、早期に策定し、計画的な修繕を行う必要がある。 ・伝統文化を保存・伝承していくための活動について、広く市民に周知を図り、保存伝承の機運を一層高める必要がある。 ・公文書館施設設置については、庁内合意や具体的な整備手法の検討を行う必要がある。
今後の重点取組		
それぞれの事業の充実を図り、本市の文化芸術の振興はもとより、観光、経済の振興や集客交流にも寄与できる事業に成長させていく必要がある。 そのためには、事業の魅力アップを図りながら、効果的な情報発信を行うことが必要不可欠であり、さらに、行政・企業・市民がそれぞれの役割分担のもとに連携し、事業の効率的な運用を図る仕組みの構築と浸透が重要である。		

平成21年度第2次新まちづくり計画施策進行調書(その6)

政策目標	5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街																																							
重点課題	1	札幌の特色を活かした文化芸術の振興																																							
成果指標等の動向																																									
項目1 主要文化芸術施設の利用者数(単位:万人)		項目2 市内主要イベントの観客者数(単位:万人)																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数(万人)</th> <th>属性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>150</td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>172</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>176</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>176</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>180</td> <td>目標値</td> </tr> </tbody> </table>		年度	利用者数(万人)	属性	H18	150	現状値	H19	172	実績	H20	176	実績	H21	176	実績	H22	180	目標値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>観客者数(万人)</th> <th>属性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>52</td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>63</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>61</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>61</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>65</td> <td>目標値</td> </tr> </tbody> </table>	年度	観客者数(万人)	属性	H18	52	現状値	H19	63	実績	H20	61	実績	H21	61	実績	H22	65	目標値			
年度	利用者数(万人)	属性																																							
H18	150	現状値																																							
H19	172	実績																																							
H20	176	実績																																							
H21	176	実績																																							
H22	180	目標値																																							
年度	観客者数(万人)	属性																																							
H18	52	現状値																																							
H19	63	実績																																							
H20	61	実績																																							
H21	61	実績																																							
H22	65	目標値																																							
項目3 主要文化財施設の利用者数(単位:万人)		項目4 文化芸術に関するボランティア数(単位:人)																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数(万人)</th> <th>属性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>28</td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>28</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>28</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>28</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>30</td> <td>目標値</td> </tr> </tbody> </table>		年度	利用者数(万人)	属性	H18	28	現状値	H19	28	実績	H20	28	実績	H21	28	実績	H22	30	目標値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>ボランティア数(人)</th> <th>属性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>159</td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>411</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>249</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>249</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>500</td> <td>目標値</td> </tr> </tbody> </table>	年度	ボランティア数(人)	属性	H18	159	現状値	H19	411	実績	H20	249	実績	H21	249	実績	H22	500	目標値			
年度	利用者数(万人)	属性																																							
H18	28	現状値																																							
H19	28	実績																																							
H20	28	実績																																							
H21	28	実績																																							
H22	30	目標値																																							
年度	ボランティア数(人)	属性																																							
H18	159	現状値																																							
H19	411	実績																																							
H20	249	実績																																							
H21	249	実績																																							
H22	500	目標値																																							
項目5 子ども関連事業参加者数(単位:人)		項目6																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者数(人)</th> <th>属性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>16,817</td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>15,197</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>17,876</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>17,876</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>18,300</td> <td>目標値</td> </tr> </tbody> </table>		年度	参加者数(人)	属性	H18	16,817	現状値	H19	15,197	実績	H20	17,876	実績	H21	17,876	実績	H22	18,300	目標値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>数値</th> <th>属性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td></td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td></td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td></td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td></td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td></td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td></td> <td>目標値</td> </tr> </tbody> </table>	年度	数値	属性	H18		現状値	H19		実績	H20		実績	H21		実績	H22		実績	H22		目標値
年度	参加者数(人)	属性																																							
H18	16,817	現状値																																							
H19	15,197	実績																																							
H20	17,876	実績																																							
H21	17,876	実績																																							
H22	18,300	目標値																																							
年度	数値	属性																																							
H18		現状値																																							
H19		実績																																							
H20		実績																																							
H21		実績																																							
H22		実績																																							
H22		目標値																																							
成果指標等から見た重点課題の評価																																									
各指標のうち、施設の利用者数、子ども関連事業参加者数は順調に伸びている。 このことは、既存事業、新規事業を合わせた文化芸術に関する総合的な取り組みを行った結果、市民が様々な文化芸術活動に親しむ環境が整いつつあるものと評価できる。 さらに、次代を担う子ども達の育成に力を注ぐことで、市民自らが作り上げる文化芸術の未来を拓けていると言える。 今後も、市民に対する事業のさらなる定着・活用を図るため、こうした取組みを継続していく必要がある。 またイベントの観客者数及びボランティア数が減少しているため、さらなる事業の魅力アップや、市民が支える仕組みに関する効果的な情報提供が必要である。																																									